

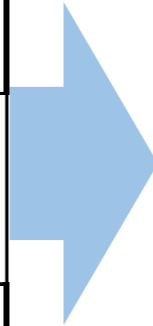
2020年 ガイドライン評価改善シート

施設名 (スタジオアルテ就労継続支援B型) 作成日時 (2020年 10月22日)

代表	施設長	本部
印		

2019年度 改善への取り組み	・ご本人様・ご家族様と連絡やコミュニケーションをしっかりと、ニーズを個別支援計画に反映させている
今年度の施設目標	・個々の個性に合わせ、ニーズをもとに知識や能力の向上のために必要な訓練を行います

項目	事業所内評価を踏まえた上での問題点	事業所内評価を踏まえた上での改善点
環境・体制整備	・ニーズをもとに個別スケジュールを見直し作成する ・特性に配慮した表記・配置・空間を整える ・スタッフの配置を常に安定させる	・面談以外でも、ご本人様ご家族様とコミュニケーションを増やし、ニーズを確認、一緒に考え、日々のスケジュールにも反映させる ・特性理解のため学びの場をどのスタッフも増やしていく ・スタッフの定着を図る
業務改善	・P=計画：ニーズの把握のための聞き取りが不足気味 ・Do=実行：日々の作業で丁寧におこなえない事もある ・C=評価：スタッフミーティングが不足 ・A=改善：全スタッフが同じ情報を共有しきれていない	・P=計画：コミュニケーションを増やす ・Do=実行：スタッフが作業に没頭しないよう心掛ける ・C=評価：隙間時間でも情報を共有していく ・A=改善：同じ情報を把握できるようスタッフのコミュニケーション増及びケース記録での連絡を行なう
適切な支援の提供	・苦手な作業を教えるための人員が確保できない時がある ・障がい者総合支援法に従い働く場の提供をするため、常に作業・収入があるよう仕事を提供する	・スタッフの定着を図り人員確保をする ・法人何に向けてのお弁当の販売など毎日安定して仕事がある状況になってきたため、今後も魅力あるお料理を作るとともに、ご本人様に任せられる仕事を増やし、生産量の安定、収入の安定を図る
関係機関との連携	・計画相談事業所とのやりとりが少ない ・病院・ワーカーとの連携を必要になってきているのでは ・今は利用していないが土日などの過ごし方も一緒に考え関係機関（フォーマル・インフォーマル共に）を探すお手伝いが必要なのではと感じる	・コロナ禍ではあるが計画相談のモニタリングは来てもらえるように極力お願いし、関係構築に努める ・ご本人様、ご家族様のご希望に添えるよう病院同行・ワーカーへの連絡・情報提供書を作成する ・計画相談と相談しながらニーズにあった生活全体を一緒に考える
本人（家族）への説明責任等	・利用日数が少ない利用者様、ご家族様との関係性が薄くなりがちである ・ご家族様との連絡が少ない	・利用日数が少ない利用者様の出勤日にはコミュニケーションをとる時間を確保する、ご家族も同様。 ・ご本人様のわかる言葉を使用し説明をする ・ご家庭への連絡を日々行い気軽に連絡してもらえるようにする（電話・連絡ノート・必要ならメール等）
非常時等の対応	・現在行っている避難訓練のステップアップができるか ・現在告知をして避難訓練を行なっているためか、真剣さが感じられない場面もある（ヘルメットをかぶる事が恥ずかしいと感じている様子が見える等）	・一次避難⇒二次避難と内容を濃くしていく ・消防への通報なども取り入れ、実際に近い訓練にする ・事前告知なしで訓練を行う ・ご家庭でも災害時を想定し話し合いをしてもらう



分析検討してみたの事業所の強み	分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> 法人内で様々な研修を全スタッフにむけ行なっている 法人内に販路があるなど、法人内で仕事が生まれる環境であるためコロナの影響もあるが安定した収入が確保できている スタッフが定着してきている 計画相談との連絡や情報提供書の作成など、ケースごとであるが出来てきている ご家族様との連絡を意識し、連絡手段を何パターンかに増やし、お仕事をしているご家族に連絡ができるようになってきた 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフを定着させ、日々利用者様と向き合い、個人のニーズに合わせた訓練を行なえるよう、スタッフ同士で小さな事も情報共有し、支援について計画改善を行なう。小さな事でも常によりより良い支援にブラッシュアップしていけるよう心がける。 仕事の能力はもとより、卒業後に就労Bを利用を開始した利用者様には、特に社会人としてビジネスマナーも個々に合わせ支援していく。（挨拶・勤怠などの初歩から） お仕事に忙しいご家族に配慮し、連絡手段を個々のご家庭

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 作業に追われる事が日々だが、毎日、朝礼後の5分、お昼休み後に5分、終礼前に5分、スタッフ同士でその日の様子や出来事を共有する。必要に応じてケース記録に残し、関係機関にも連絡をする 現在の仕事を継続していくため、魅力ある商品を提供できるよう食の安全を考えながら衛生面を徹底します。スタッフ全員が同じレベルの料理を提供できるようになるとともに、利用者様にお任せできる工程を増やせるよう苦手な箇所は1対1で訓練を行います、利用者様個々の得意を活かし、関わられるメニューを考えます 将来の夢が描けるように、また会人としての自覚を持てるよう、日々の仕事を通して学べる環境を作ります（障がい者雇用をしている会社や職種と一緒に検索したり、ビジネスマナーの本と一緒に読む時間をつくります）

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> マンパワーが不足すると何事も計画通りに進まないで、まずは、スタッフの定着をはかること。そこから個々に必要な支援を考え訓練もできるよになると考えます、また、メイン作業である料理に、スタッフ全員が携わり全員が同じ事が出来るようになることも、現在の仕事を継続するために必須だとも感じました。利用者様、ご家族、スタッフ、関係機関ともう少し情報共有するためコミュニケーションを常に意識する事、そのための時間を捻出する事に、まずは努力したいと感じました。

来年度の施設目標	工賃向上を目指すため、製パン作業に力をいれていきます（材料を無駄にしないようロスがない作業を心がけます）
----------	--